

# 琉球大学学術リポジトリ

## FDレポート2：09前期「基礎演習」と同「17・18世紀イギリス文学」期末レポートについての報告

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学法文学部 公開日: 2010-06-11 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 吉村, 清, Yoshimura, Kiyoshi メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.24564/0002005544">https://doi.org/10.24564/0002005544</a>

## FDレポート2：09前期「基礎演習」と同「17・18世紀イギリス文学」 期末レポートについての報告

吉村 清

昨年本紀要第53号に「FDレポート：大学で蔓延するコピー文化弊害への解決の糸口」と題して拙文を掲載したが、本稿はその続編であり、2年連続担当の09前期の「基礎演習」に加えて同「17・18世紀イギリス文学」期末レポートについての報告である。これまでレポートに関しては、それぞれの教員が専ら独自に指導し、お互いに情報交換を行い、学生のレポート作成能力の向上をいかに図るかという議論はあまり見られなかったと思う。私たち「基礎演習」担当の教員は共通テキストを使用するのであれば、共通ウェブシラバスを作成・掲載するのが当然であろうとの合意の元で意見交換を行いながら同シラバスの作成・掲載を行った。授業は同シラバスを元にそれぞれが創意工夫して展開したものと考える。以下は前述の2クラスの期末レポートに関する問題点とその打開策を論じ、併せて両クラスの中でも秀逸と思われる学生のレポートを掲載したものである。尚、模範レポートには学籍番号と氏名が記されているが、本人たちの事前了解をえたものであることを断っておきたい。FDの必要性が日常的に問われる現状に対して、建設的なFDの方向性構築のための一助となり、将来的には英語文化専攻独自の「基礎演習」テキスト作成に繋がれば幸いである。

### 基礎演習 (May 7, 2009) Term Paper (期末レポート) 作成要領

1. A4白紙、1ページ35字×30行、引用文献 (Works Cited) を含んで4～5ページ程度
2. テーマ (タイトル) は各自で決定する。現在あなたにとって最も関心のある事柄は何か? 「なぜそうなっているのか」という問題意識を持つ

て調査研究してみたいテーマはあるか？そのテーマは大学1年次が1学期かけて仕上げるのに適当か？

お勧めテーマ：

1. 邦画『クローズトノート』に見られる理想的教師像
2. 英語になった日本語
3. カタカナ英語のメリットとデメリット
4. 日本語にない英語の母音と子音習得法
5. イギリスの積極的雇用政策における民間就職支援団体の役割と課題
6. 私費留学の光と影
7. 沖縄方言は日本語とは別個の言語か？

期末レポート作成スケジュール：

1. テーマに関する参考文献・研究論文は2～3冊・編程度。
2. 論文検索：①琉大附属図書館HP ②調べる・探す ③論文検索④CiNii（サイニー）
3. 5月20日（水）午後5時：テーマと参考文献の提出
4. 6月25日（木）午後5時：中間レポートの骨子である Sentence Outline & Bibliography 提出
5. 7月9日（木）午後5時：Brainstorming & ドラフト（草稿）提出、尚、参考文献からの引用箇所のコピーに著者名と書名を明記し添付すること。
6. 7月30日（木）：5-Minute Paper Presentation & Finalized Term Paper Submission

#### Term Paper Checklist (Spring, 2009)

1. ページ設定はシラバスに準じて、35字×30行になっていますか？
2. フォントサイズは12ポイントになっていますか？
3. ドラフトのページ数はシラバスに準じて、5ページ以上となっていますか？
4. ページ番号は、各ページの下中央に打たれていますか？（挿入→ページ番号）

5. Brainstorming、Sentence Outline、Draft with Works Cited Copies of the quoted sources の順で綴じられていますか？また、提出日は提出のたびに当日の日付にすること。
6. あなたの文章は「です・ます調」と「である調」の混用を避け、どちらかに統一されていますか？ 但し、プレゼンテーションの場合には、「です・ます調」に統一します。
7. 「基礎演習」テキスト『大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方』（以下「基礎演習」テキストと略）の94ページにあるように、「馬鹿げている」、「やっぱり」、「ジコる」などのような俗語・口語表現を使用しないこと。また、「すばらしい」、「感動的である」、「美しい」などの主観的・心情的な表現を避け、「自分が調べた事実の記述」にそのような感情を伝えさせること。
8. Sentence Outlineの Bibliography（参考文献）、Draftの Works Cited（引用文献）はいずれも著者の姓を alphabetical order に並べること。翻訳書の著者のカタカナ表記は、原文表記を確認してから並べること。  
例：スウィフト→Swift、ヒバート→Hibbert ケストナー→Kästner
9. 「基礎演習」テキストの82と94の両ページにあるように「.....ではないだろうか」、「.....のようにいえないだろうか」、「.....のように考えられないだろうか」、「.....に違いない」、「.....と言っても不思議ではない」、「.....と考えていたのかもしれませんが」などといった言い方は、自らの推論を読む者の判断に任せようというもので、無責任です。エッセイや評論ならまだしも、研究レポートでは推測ではなく、事実にもとづいて検証した結果を示すようにすべきです。そうではなく、「.....と考える」「.....と言える」などと、明確に、断定的に自己主張を行うこと。
10. 誤字、脱字、その他の不注意な表現をチェックし、訂正してから提出すること。  
吸い人 → スウィフト 指を汚してしまう → 指を怪我してしまう  
ウワサによって → 噂によって  
同国へのたびを通して → 同国への旅を通して

家事を放尿で鎮火 → 火事を放尿で鎮火

トリー党を公に指示した → トリー党を公に支持した

皇后の宮殿におしっこをかける → 皇后の宮殿に放尿・排尿する

11. 7th ed. → 7th ed.

th を選択し、書式→フォント→「上付き」のチェックマークを解除する。

#### Sentence Outline:

1. ローマ数字 I. II. III. IV. 及び Introduction と Body の A. B. C. D. E. などは、「糸口」91～93ページの Sample Sentence Outlines に倣って各ピリオドが縦に正確に並んでいますか？
2. Introduction: Paragraph 1 の A. Central Idea はタイトルをサポートし、かつ Thesis Sentence へスムーズにつながる表現となっていますか？また、B: Thesis Sentence には Body の各パラグラフのトピックが入っていますか？
3. Introduction: Paragraph 1 の A. Central Idea & B: Thesis Sentence は、Draftのパラグラフ1に A. & B. の表記なしで確実に入っていますか？
4. Central Idea、Thesis Sentence、及び Body の各 topic sentence は原則としてそれぞれ one sentence です。複数の文で構成されていたら、連結して単文にするなどの工夫をすること。

#### 引用 (Quotation/Citation):

1. タイプして4行以内の引用はかぎ括弧（「」）でくくって、textual quotation にしてありますか？また、引用のソースに関して著者名や記載ページが明記されていますか？タイプして5行以上の引用文は、直接引用あるいは間接引用に関わらず「基礎演習」テキストの76ページの例を参考にして、左マージンから半角で5スペースインデントし、set-off quotation にしてありますか？また、引用のソースに関して著者名や記載ページが明記されていますか？
2. 「糸口」90ページの13に述べられているように、引用の際はたとえ原文の文

末が「～人もいる。」となって「。」が付けられていても、レポートでは「～人もいる」（比嘉 162）。と記述すること。「。」は1文の一つで十分です。

3. Copies of the quoted sources には著者名と書名を記入してありますか？  
また、引用箇所はマーカーで確実に色づけられていますか？
4. 引用文献の著者名を使用するとき、最初は「氏」なしのフル・ネームで、  
2回目からは姓のみを使うこと。例：  
①ロバート・ウォルポール→②ウォルポール  
①三浦 謙氏→②三浦      ①スワレス・アーマンド→②スワレス
5. 直接引用の2例：
  1. ある研究者によると「特に、18世紀はじめは、スチュワート王朝最後の国王アン女王の後継をめぐる、トーリー、ウィッグの二大政党が確執を演じ、文学者やジャーナリストを巻き込んですさまじい文書合戦が繰り広げられていたのである」（小林章夫 17）。
  2. 小林章夫によると「特に、18世紀はじめは、スチュワート王朝最後の国王アン女王の後継をめぐる、トーリー、ウィッグの二大政党が確執を演じ、文学者やジャーナリストを巻き込んですさまじい文書合戦が繰り広げられていたのである」（~~小林~~ 17）。
6. 悪気はないにしても他人の情報を無断借用、即ち、盗用・剽窃しないこと。  
「FDレポート：大学で蔓延するコピー文化弊害への解決の糸口」（『欧米文化論集』第53号）80～86頁の「学生やプロフェッショナルたちの剽窃行為」を参照のこと。

#### 09前期基礎演習レポートタイトル一覧

1. 沖縄シャーマニズム：ユタが支える沖縄文化
2. これでいいのか日本人の英語
3. 日本人が英会話を苦手とする理由とその克服法
4. 英語になった日本語
5. 日本人の英語力と韓国人の英語熱
6. 英文和訳における誤訳の原因とその解決法

7. 国際通りにおけるトランジットモール事業の成果と課題

8. 日本の高校英語教育の問題点と解決策

「17・18世紀イギリス文学」参考文献（和書）

- 以下の参考文献の著者名をアルファベティカルオーダーで並べ替えるために  
( ) 内に数字を入れなさい。X：全角1スペース x：半角1スペース
- ( ) 中野好夫 X 『スウィフト考』(岩波新書) X 東京：岩波書店, x1969.
  - ( ) N. O. ブラウン (Brown) 『エロスとタトナス』 秋山さと子訳 東京：  
xxxxx 竹内書店, 1970. (2行目以降は5スペース分インデント)
  - ( ) 岡崎祥明 『スウィフト研究——諷刺の生成と変容』 東京：南雲堂,  
1978.
  - ( ) マージョリー・H・ニコルソン (Nicolson) / ノーラ・M・モーラ  
『想像の翼——スウィフトの科学と詩』 渡邊孔二訳 京都：山口書  
店, 1981.
  - ( ) 岩崎泰男 『スウィフトの時代の政争と文学』 東京：英宝社, 1982.
  - ( ) 和田敏英 『「ガリバー旅行記」論争』 東京：開文社出版, 1983.
  - ( ) 渡邊孔二 『スウィフトの断想』 京都：山口書店, 1984.
  - ( ) 三浦 譲 『スウィフト管見』 東京：南雲堂, 1984.
  - ( ) 阿刀田 (あとうだ) 高 『あなたの知らないガリバー旅行記』 東京：新  
潮社, 1985.
  - ( ) 渡邊孔二 『メービウスの帯——書き手スウィフト』 京都：山口書店,  
1991.
  - ( ) 和田敏英 『スウィフトの詩』 福岡：九州大学出版局, 1993.
  - ( ) 三浦 譲 『炎の軌跡——ジョナサン・スウィフトの生涯』 東京：南雲  
堂, 1994.
  - ( ) エドワード・W・サイード (Said) 『世界・テキスト・批評』(叢書・  
ユニベルシタス480) 東京：法政大学出版局, 1995.
  - ( ) 四方田 (よもた) 犬彦 『「ガリヴァー旅行記」論——空想旅の修辞学』  
東京：七月堂, 1996.

- ( ) 鈴木善三 『イギリス諷刺文学の系譜』 東京：研究社出版，1996.
- ( ) 有田昌哉 『ジョナサン・スウィフトと女性たち』 東京：近代文芸社，1997.
- ( ) 富山（とみやま）太佳夫 『「ガリバー旅行記」を読む』（岩波セミナーブックス79） 東京：岩波書店，2000.
- ( ) 渡邊孔二 『スウィフトの文学的技法』 京都：京都修学社，2003.
- ( ) 西山 徹 『ジョナサン・スウィフトと重商主義』（岡山商科大学学術研究叢書） 岡山：岡山商科大学，2004.
- ( ) 木下 卓/清水明編 『シリーズもっと知りたい名作の世界⑥ガリヴァー旅行記』 京都：ミネルヴァ書房，2006.

#### 09前期「17・18世紀イギリス文学」レポートタイトル一覧

1. ジョナサン・スウィフト『ガリバー旅行記』：リリパット王国における内政と当時のイギリス情勢
2. ジョナサン・スウィフト『ガリバー旅行記』に現れる日本とその意味
3. ジョナサン・スウィフト『ガリバー旅行記』：リリパット王国における政争と戦争
4. ジョナサン・スウィフト『ガリバー旅行記』：リリパット王国から見るスウィフト時代のイギリスの社会
5. ジョナサン・スウィフト『ガリバー旅行記』：リリパットとフウイヌムを通しての社会風刺と人間批判
6. ジョナサン・スウィフト『ガリバー旅行記』：ジョナサン・スウィフトの生涯とリリパット王国におけるレミュエル・ガリバーの人生の比較
7. 『ガリバー旅行記』原著の第一章、リリパット王国とDave FleischerのDVD作品の中の同国との比較
8. ジョナサン・スウィフト『ガリバー旅行記』における諷刺としてのリリパット王国の政治と風習



## 日本の高校英語教育の問題点と解決策

私達日本人は、高校を卒業するまでに少なからず六[6]年間外国語として英語を学習します。しかし、六[6]年間学んでもろくに英語での日常会話すらできないという話はよく耳にします。実際に高校で学んだ英語力を使ってネイティブスピーカーと満足に会話ができるという人はほとんどいないと思います。現在の英語教育の現状を考えれば無理もないと言えます。そこで日本の高校英語教育の抱える問題点と解決策について述べたいと思います。主な問題点としては文法偏重主義の教育にあること、言語を学習するクラスとしては人数が多く、英語が得意、不得意な生徒がでてくるということ、難しすぎる入試問題のため構文暗記型の勉強になってしまうということが挙げられ、解決策としては文法だけでなく、実践的な会話やリスニングを授業に取り入れること、基礎・発展クラスのような習熟度別クラスの導入、入試を意識した授業でなく、英語を使ったゲーム、会話を行い生徒参加型の授業を作るということが挙げられます。

問題点としてまず初めに、文法偏重主義の教育にあり実用的な英語が学べないということが挙げられます。この問題の原因としては、難しすぎる大学英語入試問題の存在が考えられます。そのため、自然と普通の授業から大学入試を意識し、文法指導に大半の時間を割くことになります。河合忠仁にまるとは、「英語は上級学校へ行くための入試科目（選別の科目）になるのが現状である。入試に合格するために英語の力を身につけるのである」と述べています（176）。教科書によるリーディングの授業も結局文法事項の確認のためにしかすぎません。米原幸大によると、「日本のリーディング中心のクラスは、生徒に英語を1文毎に日本語に訳させるケースが未だに多いと思います。そして、残念ながら英語の“リーディング”というより、やはり文型文法を使っての暗号解きになってしまっているケースが多いと思います」と述べられています[ということです]（35）。このような学習法では授業が全く無意味なものになってしまいます。そのため当然、日本の高校生には話す、聞くという能力が英語を学ぶ諸

外国の高校生に比べ劣ってしまうのです。実際に英語を学ぶアジア諸国と比べても TOEIC や TOEFL の日本人の平均点はかなり低いと言えます。特に、この文法偏重主義の傾向は進学校ほど高いのです。そのため、進学校、有名大学を出た学生であってもその英語力は高いものとは言えないのです。このような教育システムが英語を話せない日本人を作り出していると言っても過言ではありません。また、英語を学ぶ上で特に重要とされる、聞くという能力も当然欠如するのです。

次に日本の高校では、言語を学習するクラスとしては人数が多く、得意、不得意な生徒がでてくるという問題点が挙げられます。日本の場合ほとんどの高等学校が1クラス40名で編成されています。そして、英語の授業の際には1クラス40名に対して日本人の英語教員が1人で授業を展開するというのが普通です。そのような学習環境の中では、生徒がわからない問題を[について]質問したりする時間などほとんどなく、英語のできない生徒ができないままになってしまいがちになります。このことにより、学力が二極化してしまうことが懸念されます。特に英語科以外の学科では生徒の英語力にだいぶバラつきがあるように見られます。また、日本の高校英語教育の場合、授業中に生徒達と教員が討論したり、意見を交わしたりする光景はあまり見られず、生徒が授業に参加できないことが多いのです。オーラルコミュニケーションなどの会話中心の授業の場合、この問題はさらに深刻です。一[1]クラスのあたりの人数が多いため、ALT と会話する機会などめったになく、生徒同士で英会話を行うペアワーキングがどうしても中心になってしまいます。英語教員や ALT がすべての生徒に対して発音のチェックができないため、生徒同士が正しい発音でなく、カタカナ英語で発音してしまうなどの弊害も生じてきます。

最後に、[もう一つの]問題点として難しすぎる大学英語入試問題のために構文暗記型の英語学習になってしまうことが挙げられます。日本の大学英語入試問題は~~とても~~[非常に]難しく、高校生が受験するのにふさわしくないと考えられます。長文読解問題の場合、ネイティブスピーカーでさえも難しいと感じる問題も多く出題されます。「いま、ほとんどの有名大学の入試のペーパーテストで出題されている英文の多くは「TIME」や「NEWSWEEK」と同じくら

いむずかしい文章なのです。こうした文章は、それが日本語であっても、十八歳前後の若者たちの知識では、それがきちんと理解できるかどうか疑問です」(28)とグレゴリー・クラークは述べています。特に難しいと言えるのが文法・語彙・語法問題です。そのため、難しいとされる構文を入試前に徹底的に頭に叩き込むというスタイルの学習が多く日本人学生に見られます。また、すべての大学で入学試験にリスニング問題を課しているわけでないので、話す、聞くことが全くできない学生でも大学入試に受かってしまうという問題もあります。英語は暗記だけでどうにかなると思っている日本人学生も未だに多いのです。また、このような学生の大半は受験が終わると暗記した内容を忘れ、無意味なものにしてしまうのです。こうした悪循環に日本の学生は陥ってしまうのです。

これまで見てきたように日本の高校英語教育は様々な問題を抱えています。ここでその問題の解決策について述べたいと思います。まず改善策として初めに、文法だけにこだわらず実践的な会話やリスニングを普段から授業に取り入れるということが考えられます。英語学習をする場合特に重要とされる、聞くという能力の欠如した日本人にとって非常に効果のあるものと言えます。例えば、簡単な英語での会話を聞きその内容について教員が生徒に質問する、または要約するといった作業を行うことも良い方法でしょう。このような学習法を行うことにより、普段から英語を使う、聞く場が少ないと感じている学生にとってその機会が大きく増え英語に慣れやすくなります。また文法偏重主義の問題についてですが、先にも述べたように大学入試に出題される英語文法問題は高校生にとって非常に難解なため、構文を暗記するだけの学習になってしまいます。そのため、すべての大学で入試問題を易しくし、英語による表現力を問う問題(簡単なライティングなど)やリスニングを取り入れる事によって日本人の英語力の向上、大学に進学した後も使える実用的な英語力を身につけることが可能になると考えられます。

次に改善策として、基礎・発展クラスのような習熟度別クラスの導入が考えられます。現在の40名の生徒を1人の日本人英語教員が指導するスタイルはどうしても授業が理解できなく、とり残されてしまう生徒がでできます。そのよ

うな問題点の解決策として少人数クラスの導入が最も望ましいと言えますが、近年の世界的不況などを考慮すると、英語教員（非常勤講師も含む）の採用を増やすということは非常に無理があるでしょう。そのため、生徒の習熟度に合わせたクラスの導入が最も良いと考えられます。英語の授業が他の生徒より理解できていない生徒がいても関係なしに授業は進んでいきます。また、苦手な生徒に合わせて授業を行ったとしても得意な生徒からは不満がでてしまいます。このような問題を取り除くためにも、基礎・発展クラスに分け授業を行っていくことが良いでしょう。できるのであれば、使用する教科書やテストも分けた方が望ましいと言えます。このような授業の導入によって生徒の理解度にあった適切な教育を行うことができます。

最後に、入試を意識した授業でなく、簡単なゲーム、会話などを通し、生徒参加型の授業を作ることが挙げられます。現在の高校英語教育の現状[状況?]は大学入試のための英語を学んでいるだけのものであり、会話表現などのような実用的な英語は全くと言っていいほど学べないため、日本人学生の英語運用能力はかなり低いのです。そのため、生徒がより英語を使えるようになるため、簡単なゲーム、会話などを授業に取り入れる必要があります。そうすることによって、生徒が自然と自ら授業に参加できるようになります。普段の授業の場合、生徒は教師の教える内容をただ聞くだけで、自分なりの答えを考えようとしません。しかし、このようなゲームや会話などのアクティビティーを行えば、生徒が自らの考えや意見を以前よりも考え、授業に参加しやすくなります。ゲームなどを行うため、楽しみながら英語力を向上させていくことができます。また、英会話などのような実践的な会話を授業に取り入れることによって、高校を卒業しても、社会に出ても活かせる英語力を身につけることができます。

これまで日本の高校英語教育の様々な問題点とその問題の解決策について見てきましたが、主な問題点として、文法偏重主義の教育にあること、一[1]クラスあたりの人数の多さ、難しすぎる入試問題のため構文暗記型の学習になってしまうことが挙げられます。また改善策として、文法だけにこだわらず、実践的な会話やリスニングの導入、習熟度別クラスの導入、生徒が授業に参加できる参加型授業の導入が考えられます。このレポートを書いてわかったことは、

難しすぎる大学英語入試が高校英語教育に様々な弊害をもたらしているということ。そのために日本人の英語能力が英語を学ぶ諸外国の高校生に比べ劣っているのだという結果にたどりつきました。しかし、これまで述べてきたように改善策はいくらでも考えられます。文法偏重主義の考えを捨て、高校生の力にあった英語教育により、日本人の英語能力向上とともに、卒業後も社会で活かせる実践な英語力を身につけることができます。

### 引用文献 (Works Cited)

グレゴリー・クラーク 『クラーク先生の英語勉強革命』 東京：ごま書房，  
1996.

河合忠仁 『韓国の英語教育政策』 大阪：関西大学出版部，2003.

米原幸大 『新英語教育』 岡山：大学教育出版，2008.

学籍番号：041850B

氏名：照屋若菜

提出日：2009年8月3日

### My Brainstorming

1. ガリヴァー旅行記リリパット王国話概要
2. 作者ジョナサン・スウィフト
3. スウィフト時代のイギリス政治・議会
4. ガリヴァー旅行記アニメ制作者フライシャー兄弟
- ~~5. リリパット王国~~
- ~~6. ブレフスキュ王国~~
7. 原著とDVDの相違点
- ~~8. 相違点①：ガリヴァーがリリパット王国に着いてから目を覚ますまで~~
9. 相違点②：リリパット国王のイメージ
10. 相違点③：リリパット王国とブレフスキュ王国の戦争の理由
11. 相違点④：ガリヴァーへの不信感
13. 相違点⑦：使用言語

- ~~14. 相違点⑥：ブレフスキュ艦隊とのガリヴァーの戦い方~~
15. 原著とDVDの類似点
16. 類似点①：ガリヴァーの戦争批判
17. 原著から消去された人物・表現
- ~~18. 削除①：ガリヴァーの食事~~
19. 削除②：スカトロロジー
20. 削除③：リリパットの議員たち
- ~~21. 削除④：リリパット国王妃~~
22. 削除の要因：子供向けアニメにするため（アニメ化のポイント）
23. 削除の効果：大衆受け＝アニメ化成功
24. 原著にない追加人物・エピソード
25. リリパット、ブレフスキュそれぞれの王の子供同士による結婚
26. ブレフスキュ王国からのスパイ
27. 歌や音楽
28. 追加の要因：ストーリーのエンターテインメント性を高める
29. 追加の効果：見る側を感情移入しやすくする
30. 私の結論

————— ：消去項目

□ . . . . □ ：追加項目

### Sentence Outline

- I. Title: ジョナサン・スウィフト『ガリヴァー旅行記』のリリパット王国と Dave Fleischer のアニメに見るリリパット王国の比較研究
- II. Introduction: Paragraph 1
  - A. Central Idea: 原作とアニメ間における相違点、類似点、消去された点、追加された点を基に比較し原作とアニメの持つそれぞれの特徴を明らかにする。
  - B. Thesis Sentence: 相違点としては、リリパット国王像、リリパット、ブレフスキュ両王国の戦争の理由、リリパット人のガリヴァーへの不

信感、使用される言語が挙げられ、類似点としては、リリパット、ブレフスキュ両王国間の戦争に対するガリヴァーの批判が挙げられる。またアニメでは原作から消去されたと思われる人物・エピソード、あるいは新しく設定されたとみられる人物・エピソードが見られ、そこに大衆アニメとしての秘策がある。

### III. Body: Paragraphs 2-6

- A. まず始めに、リリパット王国のストーリーについてとアニメ版『ガリヴァー旅行記』の制作者フライシャー兄弟について説明したい。
- B. 相違点としてリリパット国王像、リリパット、ブレフスキュ両王国間の戦争理由、リリパット人のガリヴァーへの不信感、使用される言語がある。
- C. 類似点としてガリヴァーがリリパットとブレフスキュ間の戦争について批判していることが挙げられる。
- D. アニメではリリパット王国の議員や大臣たちの存在について一切触れられておらず、ガリヴァーが放尿により鎮火をしたなどのスカトロジ的なエピソードも消去されている。
- E. 原作には見られないリリパット国のグローリー (Glory) 姫、ブレフスキュ国のディヴィット (David) 皇子のラブストーリー、ブレフスキュ国の3名のスパイであるスニーク、スヌープ、スニッチの存在、そして多様な歌や音楽等を新たに取り入れることでアニメのエンターテインメント性を高めている。

### IV. Conclusion: Paragraph 7

原作を基にアニメ化されたガリヴァー旅行記だが、ガリヴァーの戦争批判という類似点は見られるものの、リリパット国王像、戦争理由、ガリヴァーへの不信感、使用言語などの相違点、リリパットの議員・大臣やスカトロジ的なエピソードの消去、ラブストーリー、スパイ、音楽の追加などがみられ、必ずしも原作に即しているとは言えない。スウィフトによる原作『ガリヴァー旅行記』はスウィフト時代のイギリス政治を諷刺した大人向けの文学作品であり、フライシャーの『ガリヴァー旅行記』は多くの人に

受け入れられる大衆アニメ作品である。しかし、その両作品がそれぞれの目的・役割を見事に果たしているために、今日『ガリヴァー旅行記』は世界中で親しまれる貴重な作品となっている。

## ジョナサン・スウィフト『ガリヴァー旅行記』のリリパット王国とフライシャー兄弟のアニメに見るリリパット王国の比較研究

今日世界中で知られている『ガリヴァー旅行記』は18世紀イギリスの著者ジョナサン・スウィフトが生んだ諷刺文学である。原作の『ガリヴァー旅行記』(1726)では小人国のリリパット王国、巨人国のブロブディンナグ、空飛ぶ島のラピュータ、そして馬の国のフウイヌムを物語の主人公であるレミュエル・ガリヴァーが航海の際に遭難した結果訪れ、各国の政治や議会体制を映し出し、スウィフトが生きたイギリスの政治・議会との比較批判を交えながらストーリーを展開している。1939年になるとマックス・フライシャーとデイヴ・フライシャーの兄弟によるアニメーション作品 *Gulliver's Travels* が公開された。このアニメ版『ガリヴァー旅行記』は原作の第一話リリパット王国でのガリヴァーの冒険を基にストーリーの展開がなされている。しかし原作の『ガリヴァー旅行記』とこのアニメ版『ガリヴァー旅行記』はそれぞれ別の目的を持った作品であると考えられる。原作の『ガリヴァー旅行記』は、スウィフト時代のイギリス政治・議会さらには人間を批判するために書かれた諷刺の役割を持つ作品であり、アニメ版『ガリヴァー旅行記』は、多くの人に見てもらいその作品価値を認めってもらうことを目標とした商業的役割をもつ作品である。本研究では、原作『ガリヴァー旅行記』のリリパット王国とアニメ『ガリヴァー旅行記』の製作者を明記した上で原作とDVDの相違点、類似点、消去点、追加点を比較・検討していくものとする。相違点としては、リリパット国王像、リリパット、ブレフスキュ両王国の戦争の理由、リリパット人のガリヴァーへの不信感、使用される言語が挙げられ、類似点としては、リリパット、ブレフスキュ両王国間の戦争に対するガリヴァーの批判が挙げられる。またアニメでは原作から消去されたと思われる人物・エピソード、あるいは新しく設定されたと思われる人



物・エピソードが見られ、そこに大衆アニメとしての秘策があると考える。

まず始めに、リリパット王国のストーリーについてとアニメ版『ガリヴァー旅行記』の製作者フライシャー兄弟について説明したい。船医として航海に出ているガリヴァーの乗っていた船が難破し、彼の12分の1のサイズの人々が暮らす小人国・リリパット王国へ漂着する。疲れたガリヴァーが寝ている間に、リリパット人が彼の体を縛り拘束する。目を覚ましたガリヴァーはリリパット人に攻撃されないようにおとなしくしつつジェスチャーを使用して食料をもらえるように頼む。食事の際の眠り薬で眠らされたガリヴァーは使われなくなった大きな神殿へ運ばれる。足を鎖でつながれ不自由な生活を強いられるガリヴァーだが、次第に国王からの信頼を得て、自由になれたことでリリパット国王や議員たちと交流を持つようになる。しかしガリヴァーのことをよく思わない議員たちの陰謀で隣国ブレフスキュへと逃れることになるのだが、そこで幸運にもガリヴァーが乗れるサイズのボートを見つけることができ、ついには故郷へと帰還する。以上がリリパット王国でのガリヴァーの冒険物語である。なお、アニメ版『ガリヴァー旅行記』の制作者フライシャー兄弟については、フリー百科事典「ウィキペディア」を参照に述べていく。ユダヤ系アメリカ人のマックス・フライシャーとその弟のデイヴ・フライシャーは1921年にニューヨーク州ニューヨーク市にアニメーション制作会社であるフライシャー・スタジオを設立した。このフライシャー・スタジオは初期のウォルト・ディズニー・プロダクションの最も重要な競争相手とされており、この他にも『道化師ココ』、『ベティ・ブープ』、『ポパイ』、『スーパーマン』などの有名な作品も手掛けた。

次に原作とDVDの相違点について述べていく。①リリパット国王像、②リリパット王国と隣国ブレフスキュ王国間の戦争理由、③リリパット人のガリヴァーに対する不信心、④リリパット国民とガリヴァーが使用する言語が挙げられる。①リリパット国王像について、原作で描かれているリリパット国王は“His features are strong and masculine, with an Austrian lip, and arched nose, his complexion olive, his countenance erect, his body and limbs well proportioned, all his motions graceful, and his deportment majestic” (981) とあるように男らしく威厳があるが、これに対してアニメに

登場するリリパット国王 Little は、筋肉質というよりはぽっちゃりとした[丸々と太った]体型であり、また気が弱く心配症である一方で明るく快活な面も持ち合わせているため、原作とは対照的な国王として描かれている。この違いの理由として考えられることに、ライバルであるブレフスキュ国王 Bombo とのキャラクター性を識別するということがある。[一方、Bambo には]リリパット王国を侵略しようと攻め入る役目があるため、ブレフスキュ国王像としては見た目に強くたくましいイメージが必要である。ライバルのリリパット国王を対象的なイメージで描くことで両国王の気質の違いを見ることができ、より楽しめる設定になっていると考える。次に②リリパット王国と隣国ブレフスキュ王国間の戦争理由について、原作ではリリパット王国と隣国ブレフスキュ王国の戦争の原因をゆで卵の割り方としており、ゆで卵の殻を大きい方から割って食べるか、小さい方から割って食べるかという論点からリリパット王国で内戦が勃発し、内戦に敗れブレフスキュ王国へと亡命する者がいたことで両王国間の戦争が始まっている。一方のアニメではリリパット王国のグローリー姫とブレフスキュ王国のディヴィット皇子の結婚式でどちらの国歌を歌うかということが原因で戦争が始まる設定になっている。③リリパット人のガリヴァーに対する不信感について、原作ではガリヴァーは長い間リリパット国王に信じてもらえず、身体を拘束された状態が続くが、アニメではガリヴァーがリリパット王国に漂着してから目を覚ますまでという初期の段階でリリパット国民に身体を縛られるものの、目を覚ましたガリヴァーはいとも簡単に自分の身体を縛るロープを引きちぎり自由の身となる。原作でこの場面を読む面白さは、巨人であるはずのガリヴァーが自分の12分の1ほどの小さなリリパット人に拘束され、不便な生活を強いられることにあるが、DVD では巨人のガリヴァーが勢いよくロープを引きちぎり、リリパット国王や国民が慌てふためく姿を滑稽に描くことで見る側に笑いを促している。また子供が鑑賞することも考慮に入れ、身体を拘束するという暴力的な行為を避けているとも考えられる。④リリパット国民とガリヴァーが使用する言語について、原作ではリリパット王国で使用されている言語はヨーロッパの6カ国もの言語をマスターしたガリヴァーでさえ理解することができず、始めのうちはジェスチャーで意思疎通をしているが、

後にリリパットの学者6人にこの国の言語を教えてもらい会話ができるようになるとしている。しかしアニメのガリヴァーとリリパット国民にはそういった言語間の障害はなく、リリパット国王、国民、ガリヴァーの皆が英語で意思疎通をしている。この原因を、母国語を学ぶ段階である子供が鑑賞する場合でも、十分にその内容が理解できるようにするために他言語の使用を省略したのではないかと考える。

次に主な共通点を考えると、原作、DVDの両作品においてガリヴァーはリリパット王国とブレフスキュ王国が招いた戦争に嫌悪感を抱いており、そのことで[両?]国王を批判していることが挙げられる。この場面には原作者スウィフトの戦争批判に基づいた考えが込められている。原作での戦争の原因は先に述べたようにゆで卵の割り方であったが、このゆで卵の割り方というのは、その当時のイギリスの旧教カトリックと新教プロテスタントのことを指しており、ある研究者はヨーロッパ全体における宗教の傾向と当時のスウィフトの考えについて以下のように述べている。

1618年から1648年までの30年戦争は宗教戦争の悲惨さと愚かさとを人々に教え、新教国家と旧教国家の共存を認める国際体系が作られつつあった。それぞれの国内でも宗教的寛容の雰囲気が強まりつつあった。そうした傾向の最初の現われは早くも16世紀末、フランスのアンリ4世(1553-1610)が宗教の自由を求めるナント勅令を出したことに求められる。しかし、宗教対立は簡単にはなくならなかった。イギリスでは、1660年の王政復古後2代目のジェームズ2世(1633-1701)がイギリスのカソリック化をはかり、失敗した。スウィフトが20歳ごろの話である。もっとも、ジェームズ2世のカソリック化は、ほとんど進展することなく失敗していた。それは同じころフランスのルイ14世(1638-1715)がまったく強権的なカソリック化政策を進めたことによるところが少なくない。ルイ14世は1685年ナント勅令を廃止し、フランスのユグノー教徒(新教徒)を迫害した。(省略) 経典ブランデラルには卵をどちらの端から食べてもよいと書いてあるのに、まだ、どちらかに決めさせようとしているとあるのは、ナント勅令があるにもかかわらずカソリック化政策を進めたルイ14世と、そしてある程

度までジェームズ2世のことに触れたものといえよう。スウィフトはこうした宗教的不寛容を批判したのである。(高坂 545)

また、ガリヴァーはリリパット国王が隣国を植民地化しようとしたことに対して、罪のない人々の自由を奪うことになると反論していることから、スウィフトが弱い者を征服しようとする戦争を嫌っていることがうかがえる。DVDにおける戦争の原因は原作のそれとは異なるが、戦争に巻き込まれて生命の危機にさらされるディヴィット皇子を見て戦争の愚かさに気付かされるという演出をすることで、戦争は罪もない弱い者の命をも奪ってしまうという批判がしっかりと込められていることがわかる。

アニメ制作ではしばしば原作のある部分や登場人物を省略してしまうことが見受けられ、フライシャー兄弟のアニメ『ガリヴァー旅行記』においてもそれは見られる。原作では重要な登場人物であるリリパット王国の議員たち、特にガリヴァーを憎み彼を陥れようとするフリムナップは陰で国王をコントロールし政治の実権を握るほどの大物であるが、アニメでは登場することはないため、ガリヴァーは憎まれ者の役を負うことなくリリパット王国の人々と仲良く暮らしている。また、原作ではガリヴァーの排尿・排泄シーンがあるが、アニメでその場面は一切描かれていない。それはなぜなのか。フリー百科事典「ウィキペディア」ではアニメ化の際にアレンジされやすいことの例として、テレビ局の表現規制に合わせて問題表現を削除することや大衆性を持たせるためにマニアックなネタの省略することが挙げられている[page]。つまり、多くの人に見てもらうことを目的としているアニメでは様々な人に受け入れられるように暴力的な表現やスカトロジ的な表現は避ける傾向があるということがわかる。よって、アニメのガリヴァーは議員たちにいじめられることもなければ、皇后の宮殿に放尿することもなかった。

最後にアニメにしか見られない新たな人物像や設定について考えてみると以下のことが挙げられる。①リリパット王国のグローリー姫とブレフスキュ王国のディヴィット皇子の恋愛物語、②ブレフスキュ王国からの3名のスパイ、スニーク、スヌープ、スニッチの存在、③多様な歌や音楽についてである。①リリパット王国のグローリー姫とブレフスキュ王国のディヴィット皇子の恋愛物

語について、原作ではグローリー姫やディヴィット皇子のことは明記されてい[は登場し]ないためラブストーリーの展開は見られないが、アニメではまるでロミオとジュリエットの物語のように恋人[のそれぞれの父親が]敵であるという劇的な設定を取り入れている。こうすることで、見る側を魅了し、よりアニメの内容へ引き付け、多くの人の共感を得るという効果が期待できる。②プレフスキュ王国からの3名のスパイの存在についても同じように、悪役を物語に取り入れることで見る側の緊張感を高め物語の内容に引き付けようとする効果がある。またこのスパイ3名は滑稽に描かれているため、笑いを誘う効果も考えられる。③多様な歌や音楽について、アニメではリリパットの国歌やプレフスキュの国歌、またこの他にも楽しい歌や音楽が各場面で盛り込まれておりミュージカルのようにも思える。この理由として考えられるのは、ウィキペディアに述べられているように、フライシャー兄弟は『ガリヴァー旅行記』を制作する際、ウォルト・ディズニーが生んだ白雪姫を模倣しようとした点である[page]。ディズニー作品ではその多くが歌や踊りを多様に組み込んでいる。アニメ版『ガリヴァー旅行記』はこれを模倣しようとした作品であるため、多彩な音楽にあふれていると考えられる。歌や音楽はセリフよりも見る人の記憶に残りやすい。人々の記憶に残ることが大衆性をもたせる上でも大きな効果をもたらせたと考えることもできる。アニメでは、これらの新たな設定によって作品のエンターテインメント性を高めていると言える。

このように、原作を基にアニメ化された『ガリヴァー旅行記』だが、ガリヴァーの戦争批判という類似点は見られるものの、リリパット国王像、戦争理由、ガリヴァーへの不信感、使用言語などの相違点、リリパットの議員・大臣やスカトロロジー的エピソードの消去、ラブストーリー、3人のスパイ、音楽の追加などがみられ、必ずしも原作に即しているとは言えない。それはスウィフトによる原作『ガリヴァー旅行記』はスウィフト時代のイギリス政治を諷刺した大人向けの文学作品であり、フライシャーの『ガリヴァー旅行記』は多くの人に受け入れられる大衆アニメ作品であるからである。しかし、その両作品がそれぞれの目的・役割を見事に果たしているために、今日『ガリヴァー旅行記』は世界中で親しまれる貴重な作品となっている。

引用文献 (Works Cited)

フリー百科事典「ウィキペディア (Wikipedia)」『アニメ化』

<http://ja.wikipedia.org/wiki/アニメ化> アクセス：2009年7月13日

フリー百科事典「ウィキペディア (Wikipedia)」『フライシャー・スタジオ』

<http://ja.wikipedia.org/wiki/フライシャー・スタジオ> アクセス：2009年7月13日

高坂正堯 「近代文明への反逆『ガリヴァー旅行記』から21世紀を読む」『高坂正堯著作集』 東京：都市出版株式会社, 1999.

Swift, Jonathan. *Gulliver's Travels: Part 1, A Voyage to Lilliput. The Norton Anthology of English Literature: The Major Authors.* Gen. ed. Stephen Greenblatt. 7th ed. New York and London: Norton, 2001. 974-1012.